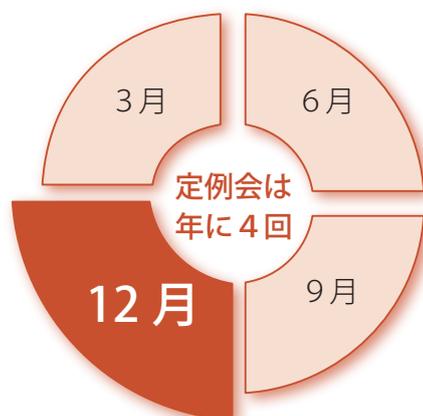




作品タイトル「ドライブ」

作者／宮本 幸さん(青森県立大湊高等学校 2年生 美術部)



第250回(12月)定例会議案審議	………… P 2
常任委員会活動報告	………… P 3
一般質問	………… P 5
審議結果および賛否一覧	………… P 8
使用済燃料中間貯蔵施設に 関する調査検討特別委員会	………… P 9
常任委員会等の構成	………… P10
特集	………… P11
お知らせ	………… P12

第250回定例会

令和3年11月24日～12月17日

むつ市議会第250回定例会が去る11月24日から12月17日までの24日間の会期で開かれました。

今定例会には、17議案3報告が上程され、審議の結果、それぞれ可決・同意・報告されました。

議案審議での主な質疑

【議案第77号】令和3年度むつ市一般会計補正予算
(6750万円の増額補正)

問 　むつ市PCR検査センター運営事業費補助金について、対象者が帰省する方の場合、家族の代理購入となるがその確認方法は。

答 　帰省される方については、むつ市在住の家族の方に購入していただくこととなり、その際に何親等であるか等の具体的な家族審査は行わないが、状況によっては確認させていただく可能性もある。

問 　むつ市あんしん生産者応援金について、交付される条件と交付金額の積算根拠は。

答 　コロナの影響前から農林水産

業により収入を得ており、今後継続する意思があり、あんしん認証事業者の認証を受けていること、これまで実施された「むつ市あんしん飲食店等応援金」が交付されていないこと、令和3年1月から12月までの農林水産業に係る任意の3ヶ月の収入額の合計が令和元年の同期比で10%以上または10万円以上減少していることが交付の条件となる。



積算の根拠は、市が把握している農林水産事業者で交付が受けられる可能性のある最大の値としている。

【議案第88号】令和3年度むつ市一般会計補正予算
(4億969万9000円の増額補正)

問 　浜通線融雪溝整備事業に繰越明許費を設定した理由と事業の全体計画に変更はあるか。

答 　道路に埋設されている通信設備が、設置する融雪溝に干渉することから、これらの移設等

に時間を要するため繰越をするものである。また、通信事業者との協議、調整を行い各年度の工事配分は変更するが、現時点では令和6年度の完成時期に影響はない。

【議案第90号】令和3年度むつ市一般会計補正予算
(3億8583万4000円の増額補正)

問 　子育て世帯への臨時特別給付について、給付方法と支給対象者の所得制限は。

答 　給付方法については、まず5万円の給付は現金で公務員の世帯を除き12月27日に振り込み、残りの5万円についてもクーポンではなく、現金の給付を考えている。

所得制限については、令和2年分の収入が960万円以下の方々に給付、収入については世帯の合算ではなく、世帯主の収入が対象となる。

※ なお、子育て世帯への臨時特別給付の『残りの5万円』については、最終日に「議案第91号令和3年度むつ市一般会計補正予算」が上程、可決されたことから、現金で給付されることとなりました。

◎むつ市健全化判断比率の修正

	修正前	修正後
実質公債費比率	15.4 (25.0) %	15.4 (25.0) %
※昨年度決算	16.1 (25.0) %	16.1 (25.0) %
将来負担比率	150.6 (350.0) %	144.7 (350.0) %
※昨年度決算	150.9 (350.0) %	150.9 (350.0) %

※()内の数字は、むつ市の早期健全化基準を示す
 ※実質公債費比率：その年に負担すべき借入金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの
 ※将来負担比率：借入金も含めた負債全体の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの

◎記事の訂正のお知らせ
 令和3年11月25日発行のむつ市議会だより第19号の「令和2年度決算」の記事の中の「むつ市健全化判断比率」に訂正がありますので、お知らせいたします。
 (今定例会において、報告された「議案第27号 令和2年度むつ市健全化判断比率の修正について」により修正があったことによるものです。)

常任委員会

付託議案の主な質疑

【総務教育常任委員会】

○12月8日付託議案審査

付託された2議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第56号 むつ市立学校設置条例の一部を改正する条例

問 統合に伴い二枚橋小学校の活動やプログラム等、引継事項について確認しているものはあるのか。

答 個々の引継事項については、二枚橋小学校と大畑小学校の間で行われることとなっており、必要なことがあれば引き継がれるべきものと考えている。

問 引継事項の詳細については、全てが確定してから教育委員会へ報告することになるのか。

答 具体的な事項については、学校同士での申し合わせとなり、それら全てを教育委員会へ報告するものではなく、在

籍の人数などといったものについては、教育委員会に報告があると承知している。

【産業建設常任委員会】

○12月8日付託議案審査

付託された3議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第82号 指定管理者の指定について（むつ市宮後牧野外4施設の指定管理者を指定するためのもの）

問 牧野の利用状況について。

答 宮後牧野で牛30頭及び馬3頭、名子牧野で牛45頭、金谷沢牧野で牛50頭、永下牧野で牛30頭及び馬5頭を放牧しており、永下畜舎で牛80頭が管理されている。

問 牧野の草地更新事業について。

答 青森県が主体となって今年度から5年間をかけて行う草地整備基盤事業で宮後牧野、名子牧野及び永下牧野の草地を改良する予定である。



宮後ふれあい牧場

問 宮後ふれあい牧場の利用状況について。

答 市民ふれあい農園を47区画設置しており、年間収入は10万8100円、利用者は27名で一般の方が野菜等の栽培に利用している。

問 むつ市のブランド牛について。

答 市内の畜産農家のほとんどが子牛を育てて販売する繁殖農家であるため、ブランド牛となる成牛までは育てていない。

○所管事務調査

・今年度の除排雪体制について

むつ市議会ラジオ放送について

本会議や特別委員会は、地元のコミュニティ放送であるFMアジュールで生放送されています。

議会傍聴の時間がないときなどには、お持ちのFMラジオやスマートフォンなどで、周波数を76.2メガヘルツに合わせるとすぐに聴くことができます。

また、インターネット配信もされていますので、お持ちのパソコンやスマートフォンからFMアジュールのトップページ【インターネットサイマル放送】から聴くことができます。

FMアジュールホームページ



【民生福祉常任委員会】

○12月8日付託議案審査

付託された4議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第79号 むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に係る傷病手当金の財源及び対象人数について。

答 財源は、国からの予算措置と財政調整基金を合わせたもので、対象人数は個人情報となるため、具体的な人数は差し控えるが、この後、制度を全体に周知し、該当する方から申請していただくこととなる。

議案第80号 指定管理者の指定について(むつ市ウェルネスパーク外1施設の指定管理者を指定するためのもの)

問 むつ市総合アリーナの外で並んで何時間も待ち、予約をする状況が見受けられるが、予約申請方法の変更の予定があるか。

答 現在、むつ市ウェルネスパークの指定管理者から、むつ市総合アリーナの予約申請方法の統一について、検討する旨の提案をいただいていることから、現状を鑑みて、今後見直しについて協議を行いたい。



むつ市ウェルネスパーク
むつ市総合アリーナ

問 指定期間を5年ではなく3年とした理由は。

答 新規に指定する場合は3年とされており、今回むつ市総合アリーナを新規で追加したことから3年としている。運営状況により、安定的な管理運営が可能と判断された場合は、次の指定期間は5年以上になる。

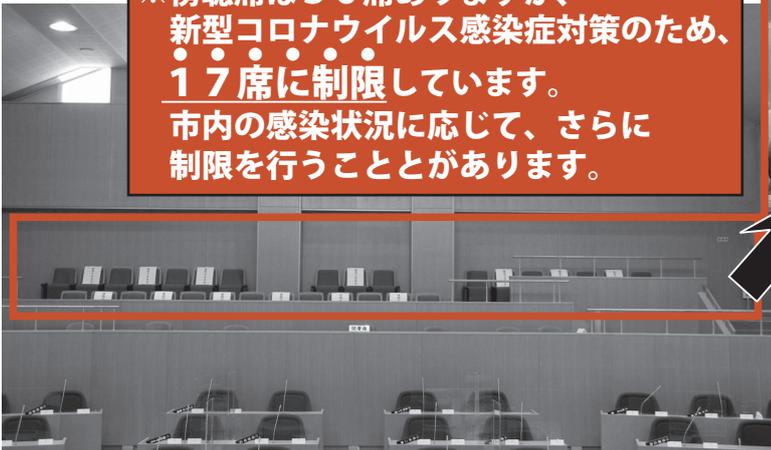
○所管事務調査

・自殺予防対策における市の現状と取組状況について

議会を傍聴してみませんか

こちらが傍聴席です。

※傍聴席は30席ありますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、17席に制限しています。
市内の感染状況に応じて、さらに制限を行うことがあります。



本会議は誰でも傍聴することができます。
市民の代表である市議会議員と市当局との議論のやり取りを、直接見たり聞いたりすることができますので、傍聴は議会活動や市政方針を知るうえで最も身近な方法といえます。

- ・傍聴される方は、本会議当日に議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。
- ・交付を受けた方は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができます。
- ・傍聴を終え、退場する際には傍聴券を返却してください。

ここが聞きたい！

一般質問

議会ホームページでは、
紹介できなかった質問内容や
本会議での質問のようす(音声)
を公開しています

一般質問のページは



こちらから↑↑

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。今定例会から一般質問の時間を従来どおりの1人60分以内とし、各種の行政課題を取り上げて3日間にわたり13人の議員が活発な論戦を展開しました。



未来への轍
原田 敏匡

問 昨年度産まれた新生児が小学校に入学する時の小中学校に在籍する児童生徒数は。

答 令和9年度における市内小中学校の児童生徒数の合計見込みは3150人で本年度に比べ570名の減となる。

問 小中学校の統廃合について。国の基準により、統合について速やかに検討する必要がある小学校は、複式学級がある規模として、今年度で閉校となる二枚橋を含め、奥内、関根、正津川、脇野沢の5校、クラス替えができない規模として、大湊、川内の2校、中学校は、複式学級は脇野沢1校、クラス替えができない規模として、近川、関根、大湊、川内、大畑の5校が該当。この中で、大畑地区の統合可能性について検討しているが、その他の地区は通学距離や地域の事情等を考慮し、現状の学級規模での教育活動を推進。



自民クラブ
佐藤 広政

問 青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画成案を受けての市長の所感は。

答 この計画は、日本や青森県とりわけ学校のあるむつ市の未来像が描かれていないこと、その未来に向けて、子供たちの可能性を伸ばさせるためなど、具体的な教育が行われるかなどの、具体的な中身がないことから、残念ながら改革の名に値しない計画になったと感じている。地域に対して改めて、しっかりと説明をしてもらった必要があると感じている。

問 同様に教育長の所感は。

答 3月に当地域について4つの案が示されてから、具体的な相互比較もなく、7月7日に大湊高校とむつ工業高校を統合する案が示されたが、1つに絞った経緯の説明がない。具体的な学校の在り方は開設準備委員会では協議するとしていたので教育長としてしっかりと発言していきたい。



新風むつ
斉藤 孝昭

問 高等教育機関の現状と課題について。

答 青森明の星短期大学下北キャンパス卒業予定者の進路については、希望する方すべてが、むつ下北地域に就職できる環境を整えることが課題であり、現在、むつ商工会議所やむつ下北未来創造協議会などと連携を図り、地域で学び地域で働く環境の創出に努める。

青森大学むつキャンパスへは入学試験会場として市役所庁舎を貸し出すなど支援を行なっている。また、開校後の連携については、市内にキャンパスを有する青森大学、明の星短期大学、サテライトキャンパスを展開する弘前大学、青森中央学院大学に加え、むつ商工会議所を中心とした産業界や市内に所在する4研究機関を加えた産学官の連携により、新たなまちづくりを推進していく。



未来への轍
富岡直哉

問 青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画に係る県教委のこれまでの対応及び今後の市の対応について。

答 11月11日に県教育長が当市を訪れ実施計画案の説明があったが、市の要望である地域との協議の時間と機会をいただきたいという願いは聞き入れられず、根幹部分が何も変わらない案の説明を受け、一つも納得できる部分がないプロセスにより決定されたことに強い憤りを感じている。また、下北統合校については、校舎建築を伴うことから、来年度にも開設準備委員会を設置するよう求めていく。

問 移住・定住の取組と課題について。

答 当地域での仕事のマッチングが大きな課題であると考えられている。当市では企業ガイドブックを作成し市内企業の求人情報を提供しており、引き続き広報に努めて参りたい。



市誠クラブ
野中貴健

問 スポーツ少年団について。

答 市では、市内全てのスポーツ少年団を統括する、事務局を担っており、総会等で競技ごとの大会の内容などの情報共有を図っている。今後は、これらに加え、運営方法や連絡体制等の構築に苦慮されている団体からの御相談に応じ、必要な助言を行うなど、支援内容を強化していく。

問 むつ市子ども夢育成基金について。

答 スポーツ活動については、青森県を範囲とする大会を経て参加資格を得て、日本スポーツ協会や中体連、スポーツ少年団等またはその下部組織が主催する全国、東北大会への出場に係る経費の2分の1を補助している。また文化活動については、吹奏楽や合唱、伝統芸能など、学校内外問わず児童生徒の教育活動と認められる全国、東北大会に参加する場合、補助の対象としている。



市誠クラブ
東健而

問 児童生徒が減少している状況の中で行われている教育の現状をどう考えているか、また教育格差について。

答 小規模での教育は、児童生徒との距離が近いことから、寄り添った指導を心掛けていく必要があり、また教育格差についてはタブレットを用いて調べ、学習をするなど、児童生徒の学びが深まるように工夫して取り組んでいるので学びに差が生ずることはないと考えている。

問 小中学校の県費負担教職員の定数と配置状況、5年、10年後の学級数の配置の概要は。

答 市内の公立小中学校の県費負担教職員数は、加配等の教職員を含め、409名配置、5年後は20名減、10年後は22名減が見込まれ、現行の教職員配置基準等に基いた推計によると小中学校の通常学級数は5年後15学級の減、10年後にはさらに14学級の減と見込まれている。



自民クラブ
濱田栄子

問 令和3年8月9日むつ市・風間浦豪雨災害の検証及び避難の初動体制と避難所における今後の課題について。

答 被害の最も大きかった赤川地区では災害を予感した付近住民がお互いに声を掛け合い赤川地区公民館の駐車場にまとまって一時避難した後、高台にある赤川八幡宮への避難と、住宅二階への垂直避難をそれぞれ選択し、すばやい行動により人的被害はなかった。小目名、高橋川地区でも付近住民が声を掛け合って避難し、市街地においても同様に共助による避難がなされており、湯坂下地区においては消防団員の協力を得てゴムボートでの避難も行われた。市の初動対応としては、大雨洪水警報発表後、直ちに登庁し関係機関から情報収集等を行い市内の河川の状況等を把握したうえで、避難指示を発令し避難所を開設した。



未来への軌
村中 浩明

問 下北ジオパークを訪れる外国人等の受入体制について。

答 外国人の受入強化につきましては、ユネスコ世界ジオパークに向けての課題の一つと捉え、取組の強化が必要であり、

ジオサイトに来訪する外国の方にも下北ジオパークのストーリーを知っていただけるよう、解説看板へ英語の併記を行い順次設置していくこととし、また、現在、英語版ガイドブックを作成中であり、着実に取組を進めて参りたい。

問 いじめ、不登校の状況について。

答 昨年度、病気や経済的理由を除き、年間30日以上欠席した市内の児童生徒数は75名で、令和元年度の63名と比較し12名増加している。いじめの認知件数は、昨年度29件となっており、令和元年度の56件と比較し27件減少している。



無会派
佐藤 武

問 文化の香りがする街づくりとして、歴史的有形文化財と郷土作家の常設展示はできないか。

答 郷土作家の常設展示をするには、学芸員又は専門職員の配置、展示品の防犯、火災警備等の課題を解決していくことが必要だ。文化財収蔵庫の収蔵品を見ていただくために、出前講座や北の防人大湊式番館で企画展を行なっている。市の歴史に触れ、郷土の発展のために尽くした先人の功績を学び、長きにわたり受け継がれてきた貴重な文化財や歴史的資料を後世に引き継ぐためにも、常設展示の出来る施設の必要性は十分認識している。むつ市総合経営計画においても、文化財を保存・活用し、地域活性化につなげる核となる施設として、歴史民俗資料館の設置を検討するとしているので、引き続き関係部局と協議していく。



無会派
工藤 祥子

問 原田高騰対策として低所得世帯や福祉施設等に助成を。

答 国においては影響を受けている業界や自治体向けの支援策を検討している状況にあるので、対応を注視していく。

問 デジタル防災行政無線の整備は市内全域にすべき。また、地域の説明会はどのように行うのか。

答 津波等の緊急性の高い災害に対応する手段として、沿岸部中心に設置することとしている(約86箇所)。この無線は気象条件で聞き取りにくい状況もあり、テレビ、ラジオ、携帯電話等の情報端末も含めた多様な、多重化の伝達手段で災害情報の伝達を行う。今後防災かまふせメールの登録促進、自主防災組織結成の支援等もすすめていく。山間部等は防災ラジオ等の導入も含め、調査・研究していく。地域の説明会は、地域の町内会長等を対象に、1月から2月頃を予定。



無会派
杉浦 弘樹

問 ニホンザルにおける昨年度の農作物被害の地区別被害状況及び地域個体群の生息・行動域の状況と対策について。

答 農作物被害は、市全体で50件58万2555円、地区別ではむつ地区7件3万1988円、大畑地区18件34万1148円、川内地区11件16万4249円、脇野沢地区14件4万2870円となっており、令和元年度比較では、市全体で被害額は減少しているが、大畑地区は被害件数及び被害額が増加している。地域個体群の生息状況は、市全域で30群1263頭が確認されており、むつ地区4群189頭、大畑地区12群514頭、川内地区4群204頭、脇野沢地区10群356頭である。行動域の状況は、大畑地区で群れが分裂し、関根地区まで拡大している。今後は、追い払い・パトロールを強化して参りたい。



市誠クラブ
佐賀 英生

問 今以上に積極的に海洋地球研究船「みらい」の継続と、新造船（北極域研究船）の誘致及び母港化を推進すべき。

答 私(市長)自身も同じ考えであり、今後、今以上に誘致・母港化を推進するために、議会とも連携しながら、どのような活動をすべきか検討していく。

問 また、新しい研究船も関根浜港であれば、十分に対応できると聞いている。今の時点では優位な状況にあるが、市としてもソフト面で貢献できることを伝えていかなければならないと思っている。

問 避難道として、大畑小学校の裏に階段を取り付けるべきと考えるか。

答 大畑小学校は、津波・洪水ともに浸水想定区域で、メリツトはあるが、裏手斜面はかなり急こう配で、仮に設置した場合でも、デメリットもあると思われる。



自民クラブ
浅利竹二郎

問 脇野沢唯一のガソリンスタンドが廃業したが、市民の生活を守る観点からも代替え策は考えられないか。

答 ガソリンスタンドはあくまでも民間の事業店舗である。市としては市民や地域団体の皆様からご意見を伺い、ニーズを把握することから着手すべきと考えている。その後、ニーズに合った機能や規模といったガソリンスタンドの在り方の国の支援策の動向、他自治体の先進事例等を調査、研究してまいる。

問 下北ジオパークでは、保全をどのように考えているか。

答 下北ジオパークでは、「自然や自然資源を保護しながら賢明に、かつ合理的に利用していくこと」を定義とした保全管理計画を策定している。例えば、芦崎であれば砂嘴が特徴であることから、その形状を損なわないよう助言等を行うこととしている。

第 250 回定例会審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決・同意した議案等】

※『報』→報告

議案	議案の名称	議決結果
75	むつ市特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
76	むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
77	令和3年度むつ市一般会計補正予算	可決
78	むつ市立学校設置条例の一部を改正する条例	可決
79	むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
80	指定管理者の指定について (むつ市介護老人保健施設やげん)	可決
81	指定管理者の指定について (むつ市ウェルネスパーク外1施設)	可決
82	指定管理者の指定について (むつ市宮宮後牧野外4施設)	可決
83	指定管理者の指定の変更について (下北文化会館の指定管理者の指定の期間を変更するためのもの)	可決
84	市道路線の認定について	可決

議案	議案の名称	議決結果
85	市道路線の変更について	可決
86	むつ市固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めることについて(川向常寛氏)	同意
87	むつ市固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めることについて(鴨澤信幸氏)	同意
88	令和3年度むつ市一般会計補正予算	可決
89	令和3年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算	可決
90	令和3年度むつ市一般会計補正予算	可決
91	令和3年度むつ市一般会計補正予算	可決
報27	令和2年度むつ市健全化判断比率の修正について	報告のみ
報28	専決処分した事項の報告について (和解及び損害賠償の額を定めることについて)	報告のみ
報29	専決処分した事項の報告について (和解及び損害賠償の額を定めることについて)	報告のみ

※議決日は議会最終日の12月17日

(ただし、議案第75・76・77号は11月24日に議決、議案第86・87・88・90号、報告第27・28・29号は12月8日に議決)

★なお、各議員の会議への出欠状況についてはむつ市議会ホームページに掲載しています →→→



**使用済燃料中間貯蔵施設に
関する調査検討特別委員会**

第4回審査が11月24日、第5回
審査が12月7日に開催されまし
た。

○審査の概要(第4回)

前回審査で行なったりサイクル
燃料貯蔵株式会社(以下RFS社)
からの意見聴取における論点整理
がなされ、これによりRFS社か
らの聞き取りにとどまらず、親会
社である東京電力ホールディング
ス株式会社(以下東京電力)及び日
本原子力発電株式会社(以下日本
原電)より参考人を招き、意見を
伺うべきとの意見があったことか
ら、次回の審査で、2社より参考
人を招き、意見を伺うことが決定
されました。

○審査の概要(第5回)

東京電力より青森事業本部長ほ
か3名、日本原電より副社長ほか
2名を招き、中間貯蔵施設の誘致
時から現在に至るまでの経緯及び
RFS社で目途とした2023年
の事業開始に向けて、予定される
今後の搬入等の計画について、ま

た、市とRFS社との協議状況に
ついての見解などの意見を伺いま
した。

○主な質疑

問 リサイクル燃料備蓄セン
ターの概要、運営計画について、
立地協定締結の大前提になっ
ているという認識でよいか、また
2010年までに操業とあった
はずだが、今日までの11年間の
束が守られていない状況ではな
いか。

答 2004年2月にそのとき
の事業全体の基本的な枠組み、
運営計画、施設計画をお示しし
ており、非常に大切な文書とし
てこれに基づいて、事業を進め
対応してきている。しかしな
がら指摘のとおり、2010
年までという操業開始時期が守
られていない状況にあり、その
つど丁寧に説明をしてきたつも
りではあるが、この事業開始時
期については二度と延期を繰り
返すことがないよう、しっかりと
と見極めて対応していきたいと
考えている。今後とも計画の概要
等に変更がある場合には、地元
に対して丁寧に説明することが
スタートではないかと思ってい

る。

なお、柏崎刈羽原子力発電所
の状況において核燃料物質の移
動禁止命令が出ており、再稼働
時期が見通せる状況にない。ま
た、RFS社では設工認の第2
回の認可まで進み、事業開始の
見極めに向けてかなり進んでき
ているが、まだ見極められてい
ない。そうしたことをしっかりと
と把握した上で搬入計画をお示
しし、当座としてどれぐらいの
年数で、どういう形で計画を組
んだということをご説明してい
きたい。

問 新税で設定している金額が
柏崎刈羽原子力発電所の倍以上
だというお話があったが、何十
回と減免協議も含め協議してい
る中で、そういった具体的な数
字を提示することもなく、ただ
引き延ばしているといった印象
しか持てない。逆に東京電力の
ほうから減免協議に当たって、
こういった数字を出してやるべ
きではないのか。

答 柏崎刈羽原子力発電所の税
率がこうだということ、税率
を示唆するといったものではな
く、客観的な事実として、現在

柏崎刈羽原子力発電所がこうい
う税率、そして半分が課税され
ていないということがあるの
で、RFS社に今の税率のまま
運用していくことになる、経
営に多大な影響があり、中間
貯蔵という核燃料サイクルの一
角の中で円滑に運用していくこ
とは難しくなるおそれがあると
いったことを申し上げた。

問 リサイクル燃料備蓄セン
ターで貯蔵する使用済み燃料
は、東京電力と日本原電のみと
する予定に変更はないか。

答 基本原則は変わっていない。
なお、昨年12月に出た共用化の
話については、国と電気事業連
合会のほうで市を訪れ、地元の
理解を大前提に検討に着手した
ということ、まだ検討にも
着手しておらず、共用化ありき
ではなく、スタートに立つ前の
段階だと思っている。共用化の
話が、もし今後検討に着手し、
地元の理解を得てという場合に
は、ご相談をするということに
なると思うが、共用化の話につ
いては現時点でスタートに立つ
前のため、特に申し上げること
はない。

常任委員会・議会運営委員会の構成が決定！

むつ市議会第249回定例会最終日(10月22日)に各常任委員会及び議会運営委員会の委員が選任され、正副委員長は任期開始日(10月30日)以降に開催された各委員会において決定いたしました。

総務教育常任委員会

(定数8人 ◎委員長 ○副委員長)

佐藤 武
○富岡 直哉
齊藤 孝昭
佐藤 広政
◎鎌田 ちよ子
佐々木 隆徳
濱田 栄子
佐賀 英生



【担当】総務部、企画政策部、財務部、出納室、教育委員会、議会、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

産業建設常任委員会

(定数7人 ◎委員長 ○副委員長)

岡崎 健吾
○村中 浩明
東 健而
◎白井 二郎
杉浦 弘樹
佐々木 肇
山本 留義



【担当】経済部、都市整備部、建設技術部、農業委員会及び上下水道局の所管に属する事項

民生福祉常任委員会

(定数7人 ◎委員長 ○副委員長)

富岡 幸夫
○野中 貴健
工藤 祥子
◎原田 敏匡
住吉 年広
浅利 竹二郎
大瀧 次男



【担当】民生部、福祉部、健康づくり推進部及び子どもみらい部の所管に属する事項

議会運営委員会

(定数7人 ◎委員長 ○副委員長)

◎佐賀 英生 ○佐藤 広政
齊藤 孝昭 住吉 年広 濱田 栄子 岡崎 健吾 原田 敏匡

議会運営委員会では、次の事項について審査・調査します。

- ①議会の運営に関する事項
- ②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ③議長の諮問に関する事項

「市議会の活動と種類」



市議会の活動

市議会では、年4回定期的に開かれる定例会(3月、6月、9月、12月)と必要に応じて開かれる臨時会があり、その招集は市長が行います。

定例会及び臨時会は、会期が定められ、その期間中に本会議や委員会を開いて議案や請願等の審査などを行います。

また、その期間外においても、委員会や会議を開催しています。

会議の種類

市議会には、本会議や委員会などのさまざまな会議があります。

本会議

- ・本会議は、全議員で構成する会議です。
- ・市長や議員から提案された議案などを審議し、議会の最終意思を決定する最も重要な会議です。

常任委員会

総務教育常任委員会 (定数8人)

民生福祉常任委員会 (定数7人)

産業建設常任委員会 (定数7人)

- ・常任委員会は、3つの委員会があり、それぞれの常任委員会が所管する事項の調査や本会議から付託された条例などの議案、請願等の審査を行います。

議会運営委員会

- ・議会運営委員会は、議会の円滑な運営を図るため、設置された委員会です。(定数7人)

特別委員会

- ・特別委員会は、特定の問題について調査・審査するため設置される委員会です。予算審査特別委員会と決算審査特別委員会は、毎年定例的に設置されます。

会派代表者会議

- ・会派(3人以上で構成)の代表者と会派に属しない議員(オブザーバー、表決権なし)で構成し、会派間の意見調整、その他議会運営上必要と認める事項の協議、調整を行います。

全員協議会

- ・議会の円滑かつ合理的な運営を図るため、市政に関する重要案件等の協議、調整をするため、議員全員が集まり行う会議です。

広報広聴委員会

- ・議会の広報広聴に関する事項の協議、調整を行います。(定数8人)

第7回むつ市議会議会報告会
及び市民との意見交換会



11月6日(土)10時~

去る令和3年11月5日・6日の2日間、むつ市議会議員が4班に分かれ、第7回目となるむつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会を市役所本庁舎議会棟大議室にて開催しました。

今回は、令和3年度予算の主な事業の進捗状況等を報告した後、『使用済み燃料に係る新税（法定外普通税） つて何?』をテーマに市民の皆様と意見交換を行いました。

次回定例会の予定 2月21日(月) ~ 3月18日(金)

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21 議会運営委員会 本会議(開会日) 常任委員会	22 議会運営委員会 議案熟考	23 天皇誕生日	24 議案熟考	25 議案熟考	26
27	28 議案熟考	3/1 議案熟考	2 本会議(一般質問)	3 本会議(一般質問)	4 本会議(一般質問)	5
6	7 本会議(一般質問)	8 本会議 常任委員会 予算審査特別委員会	9 常任委員会 予算審査特別委員会	10 予算審査特別委員会	11 予算審査特別委員会	12
13	14 議事整理	15 議事整理	16 議事整理	17 議事整理	18 議会運営委員会 本会議(閉会日)	19

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年一昨年に引き続き、「コロナ禍に翻弄された一年でしたが、「明けない夜はない」、本年が市民の皆様笑顔輝く一年になりますことを心からお祈り申し上げます。

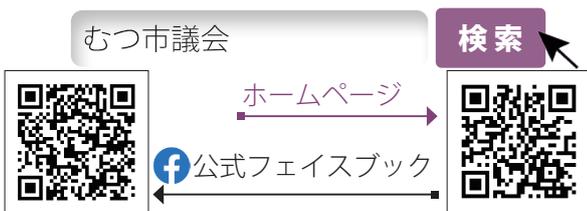
さて、本号でも紹介しておりますが、むつ市議会では任期の半分を終え、特別委員会を除く各委員会が改変され、新たな議会構成のもと12月定例会が開催されました。

広報広聴委員会も新体制となり、これまで以上に見やすく、分かりやすい形で議会の情報をお伝えできるよう紙面づくりを心がけるとともに、新たな手法による情報発信にも挑戦して参ります。

(原田 敏匡)

むつ市議会の詳しい情報は、「むつ市議会ホームページ」をごらんください。

また、「むつ市議会公式フェイスブック」でも情報をお伝えしていますので、あわせてごらんください。



報 職 委 員 会 広 報 委 員	委員長	副委員長
	原田 敏匡	住吉 年広
	委員	
	杉浦 弘樹	野中 貴健
	斉藤 孝昭	富岡 直哉
	濱田 栄子	佐藤 広政